〔気象等に関する資料〕

資料21　気象等に関する特別警報・警報・注意報等

気象等に関する特別警報・警報・注意報並びに火災気象通報の発表、伝達等は、「気象業務法（昭和27年６月２日法律第165号)」、「水防法（昭和24年６月４日法律第193号)」及び「消防法（昭和23年７月24日法律第186号)」の規定に基づいて行うもので、特別警報・警報・注意報の種類、発表基準、発表方法、伝達方法等は次による。

１　気象等に関する特別警報・警報・注意報の種類、発表基準及び伝達

（１）種類及び発表基準

ア　気象等に関する特別警報

警報の発表基準をはるかに超える異常な現象が予想され、重大な災害が起こるおそれが著しく大きい場合、その旨を警告して行う予報。発表は市町村単位で発表される。

なお、道内では、平成26年９月に石狩・空知・胆振地方で大雨特別警報（土砂災害・浸水害）が発表されている。

現象の種類	基準
大雨	台風や集中豪雨により、数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により、暴風が吹くと予想される場合
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により、雪を伴う暴風が吹くと予想される場合

イ　気象等に関する警報・注意報

（ア）気象警報

警報名	基準
大雨警報	大雨により、重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。大雨警報には括弧を付して、大雨警報（土砂災害)、大雨警報（浸水害)、大雨警報（土砂災害、浸水害）として、特に警戒すべき事項が明記される。
暴風警報	暴風により、重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。
暴風雪警報	雪を伴う暴風により、重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。「暴風による重大な災害」に加えて「雪を伴うことによる視程障害などによる重大な災害」のおそれについても警戒を呼びかける。

警報名	基準
大雪警報	大雪により、重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。

（イ）気象注意報

注意報名	基準
大雨注意報	大雨により、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。
大雪注意報	大雪により、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。
強風注意報	強風により、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。
風雪注意報	雪を伴う強風により、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。
濃霧注意報	濃い霧により、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。
雷注意報	落雷により、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。また、発達した雷雲の下で発生することの多い突風や「ひょう」による災害についての注意喚起が付加されることもある。急な強い雨への注意についても雷注意報で呼びかけられる。
乾燥注意報	空気の乾燥により、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。具体的には、火災の危険が大きい気象条件を予想した場合に発表される。
なだれ注意報	「なだれ」により、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。
着氷（雪）注意報	著しい着氷（雪）により、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。具体的には、通信線や送電線、船体等への被害が起こるおそれのあるときに発表される。
融雪注意報	融雪により、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。具体的には、浸水、土砂災害等の災害が発生するおそれがあるときに発表される。
霜注意報	霜により、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。具体的には、早霜や晩霜により農作物への被害が起こるおそれのあるときに発表される。
低温注意報	低温により、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。具体的には、低温のために農作物等に著しい被害が発生したり、冬季の水道管凍結や破裂による著しい被害の起こるおそれがあるときに発表される。

ウ　地面現象警報及び注意報

警報・注意報名	基準
地面現象警報	大雨、大雪等による山崩れ、地すべり等により、重大な災害が起こるおそれのある旨を警告して行う予報。気象警報に含めて発表される。
地面現象注意報	大雨、大雪等による山崩れ、地すべり等により、災害が起こるおそれのある旨を注意して行う予報。気象注意報に含めて発表される。

エ　浸水警報及び注意報

警報・注意報名	基準
浸水警報	浸水により、重大な災害が起こるおそれのある旨を警告して行う予報。気象警報に含めて発表される。
浸水注意報	浸水により、災害が起こるおそれのある旨を注意して行う予報。気象注意報に含めて発表される。

オ　洪水警報及び注意報

警報・注意報名	基準
洪水警報	大雨、長雨、融雪等により河川が増水し、重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。対象となる重大な災害として、河川の増水やはん濫、堤防の損傷や決壊による重大な災害があげられる。
洪水注意報	大雨、長雨、融雪等により河川が増水し、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。

（２）警報基準（数値はいずれも予想値）　（平成24年10月１日現在）

発表官署　札幌管区気象台

府県予報区		石狩・空知・後志地方	
一次細分区域		空知地方	
市町村等をまとめた地域		南空知	
大雨	（浸水害）	雨量基準	１時間雨量50㎜
	（土砂災害）	土壌雨量指数基準	―
洪水		雨量基準	―
		流域雨量指数基準	旧夕張川流域＝６
		複合基準	―
		指定河川洪水予報による基準	石狩川下流［石狩大橋］，千歳川［裏の沢］，夕張川［清幌橋］
暴風		平均風速	18m/s

暴風雪	平均風速	16m/ｓ　雪による視程障害を伴う
大雪	降雪の深さ	12時間降雪の深さ50cm

（３）　注意報基準（数値はいずれも予想値）　（平成24年10月１日現在）

発表官署　札幌管区気象台

府県予報区		石狩・空知・後志地方	
一次細分区域		空知地方	
市町村等をまとめた地域		南空知	
大雨	（浸水害）	雨量基準	１時間雨量30mm
	（土砂災害）	土壌雨量指数基準	107
洪水		雨量基準	―
		流域雨量指数基準	旧夕張川流域＝４
		複合基準	―
		指定河川洪水予報による基準	千歳川［裏の沢］，夕張川［清幌橋］
強風		平均風速	12m/s
風雪		平均風速	10m/s　雪による視程障害を伴う
大雪		降雪の深さ	12時間降雪の深さ30cm
雷		落雷等により被害が予想される場合	
融雪		70mm以上：24時間雨量と融雪量（相当水量）の合計	
濃霧		視程	200m
乾燥		最小湿度30％　実効湿度60％	
低温		５月～10月：（平均気温）平年より５℃以上低い日が２日以上継続 11月～４月：（最低気温）平年より８℃以上低い	
霜		最低気温３℃以下	
着雪		気温が０℃ぐらいで、強度並以上の雪が数時間以上継続	
記録的短時間大雨情報		１時間雨量：100mm	

（４）気象情報等

ア　府県気象情報（石狩・空知・後志地方気象情報）

気象の予報等について、特別警報・警報・注意報に先立って注意を喚起する場合や、特別警報・警報・注意報が発表された後の経過や予想、防災上の注意を解説する場合等に発表する。

イ　台風に関する気象情報

北海道地方への台風の影響が予想される場合に、住民に対して、台風の状況の周知と防災対策の必要性を喚起することを目的として発表する情報。

ウ　記録的短時間大雨情報

空知地方で、数年に一度程度しか発生しないような猛烈な短時間の大雨（１時間雨量100㎜前後）を観測（地上の雨量計による観測）又は解析（気象レーダーと地上の雨量計を組み合わせた分析）したときに、府県気象情報の一種として発表する。

エ　竜巻注意情報

積乱雲の下で発生する竜巻、ダウンバースト等による激しい突風に対して注意を呼びかける情報で、雷注意報が発表されている状況下において竜巻等の激しい突風の発生しやすい気象状況になっている時に発表する情報。また、竜巻の目撃情報が得られた場合には、目撃情報があった地域を示し、その周辺で更なる竜巻等の激しい突風が発生するおそれが非常に高まっている旨を発表する。

この情報の有効期間は、発表から１時間である。

オ　火災気象通報基準

実効湿度60％以下で最小湿度30％以下の場合、若しくは平均風速で12m/s以上が予想される場合とする。

なお、平均風速が12m/s以上の予想であっても、降水及び降雪の状況によっては、火災気象通報を行わない場合がある。

２　地震に関する警報等及び情報等

（１）地震動警報・予報の種類及び内容

種類	発表名称	内容等
地震動特別警報	緊急地震速報（警報）又は緊急地震速報	最大震度５弱以上の揺れが予想されたときに、強い揺れが予想される地域に対し、地震動により重大な災害が起こる恐れのある旨を警告して発表する緊急地震速報。 なお、震度６弱以上の揺れを予想した緊急地震速報（警報）は、地震動特別警報に位置づけられる。
地震動警報		
地震動予報	緊急地震速報（予報）	最大震度３以上又はマグニチュード3.5以上等と予想されたときに発表する緊急地震速報

（注）緊急地震速報（警報）は、地震発生直後に震源に近い観測点で観測された地震波を解析することにより、地震による強い揺れが来る前に、これから強い揺れが来ることを知らせる警報である。このため、震源付近では強い揺れの到達に間に合わない。

（２）町が該当する緊急地震速報で用いる区域名称

都道府県	予報区域の名称	区域の名称	市町村名
北海道	北海道道央	空知地方南部	南幌町

（３）地震情報の種類とその内容

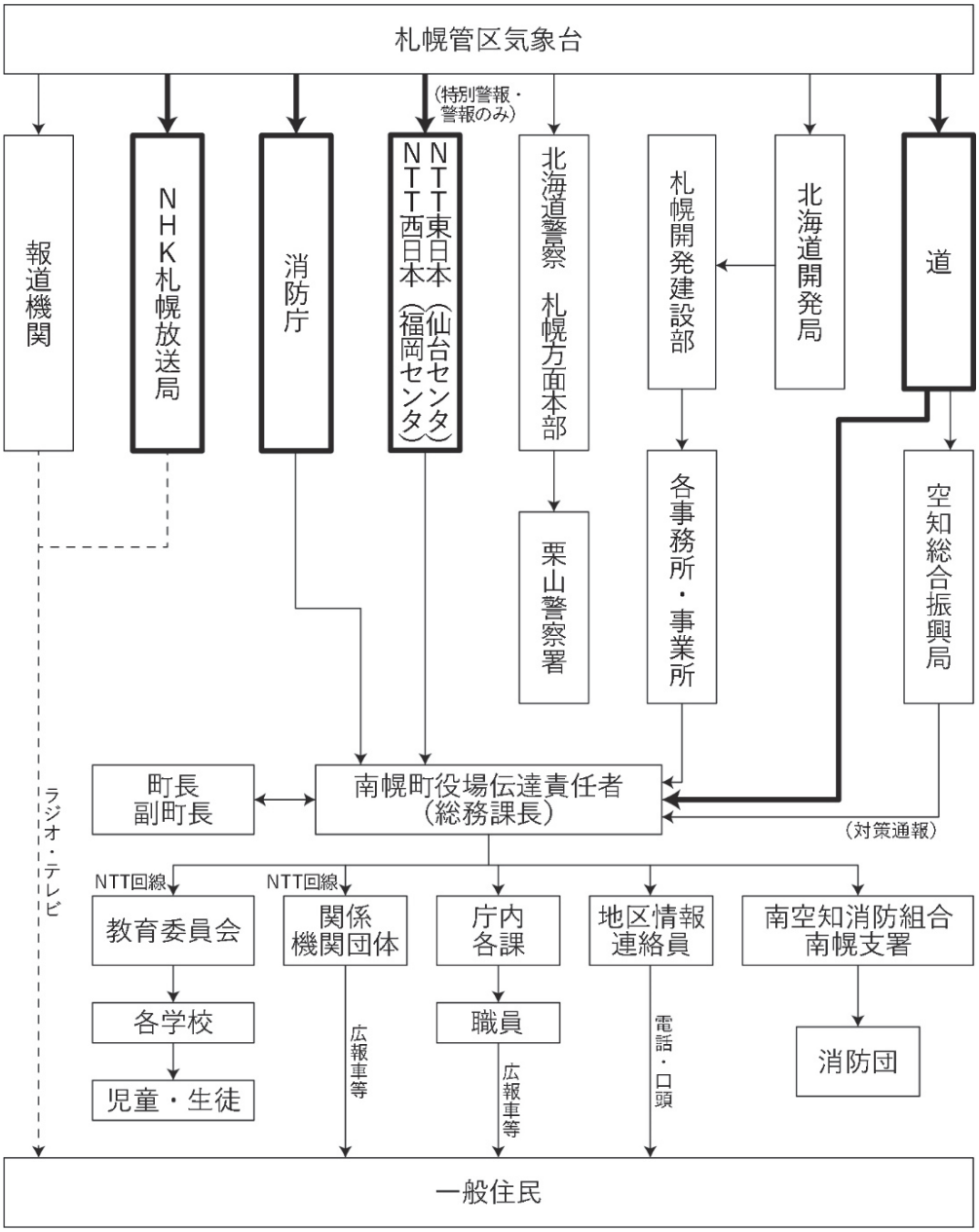
地震情報の種類	発表基準	内容
震度速報	・震度３以上	地震発生約１分半後に、震度３以上を観測した地域名（全国を約190地域に区分）と地震の揺れの発現時刻を速報。
震源に関する情報	・震度３以上 （大津波警報（特別警報）、津波警報又は津波注意報を発表した場合は発表しない）	地震の発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）を発表。 「津波の心配がない」又は「若干の海面変動があるかもしれないが被害の心配はない」旨を付加。
震源・震度に関する情報	以下のいずれかを満たした場合 ・震度３以上 ・大津波警報（特別警報）、津波警報又は津波注意報発表時 ・若干の海面変動が予想される場合 ・緊急地震速報（警報）を発表した場合	地震の発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）、震度３以上の地域名と市町村名を発表。 震度５弱以上と考えられる地域で、震度を入手していない地点がある場合は、その市町村名を発表。
各地の震度に関する情報	・震度１以上	震度１以上を観測した地点のほか、地震の発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）を発表。 震度５弱以上と考えられる地域で、震度を入手していない地点がある場合は、その地点名を発表。
その他の情報	・顕著な地震の震源要素を更新した場合や地震が多発した場合等	震源要素更新のお知らせや地震が多発した場合の震度１以上を観測した地震回数情報等を発表。
推計震度分布図	・震度５弱以上	観測した各地の震度データをもとに、１km四方ごとに推計した震度（震度４以上）を図情報として発表。
遠地地震に関する情報	国外で発生した地震について以下のいずれかを満たした場合等 ・マグニチュード7.0以上 ・都市部等著しい被害が発生する可能性がある地域で規模の大きな地震を観測した場合	地震の発生時刻、発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）を概ね30分以内に発表。 日本や国外への津波の影響に関しても記述して発表。

３　水防活動の利用に適合する警報・注意報

水防活動の利用に適合する警報・注意報	一般の利用に適合する警報・注意報	発表基準
水防活動用気象警報	大雨警報又は大雨特別警報	大雨による重大な災害が発生するおそれがある（又は著しく大きい）と予想したとき
水防活動用気象注意報	大雨注意報	大雨による災害が発生するおそれがあると予想したとき
水防活動用洪水警報	洪水警報	大雨、長雨、融雪等により、河川が増水し、重大な災害が発生するおそれがあると予想したとき
水防活動用洪水注意報	洪水注意報	大雨、長雨、融雪等により、河川が増水し、災害が発生するおそれがあると予想したとき

４　気象等に関する特別警報・警報・注意報の伝達及び方法

気象警報は、次の気象警報等伝達系統図に基づき、電話、無線その他最も有効な方法により通報し、又は伝達する。



※　太枠で囲まれている機関は、気象業務法施行令第８条第１号の規定に基づく法定伝達先。（気象業務法第15条第１項）

太線は、特別警報が発表された際の気象業務法の規定に基づく通知若しくは周知の措置が義務付けられている伝達。

資料22　気象・地象情報の入手方法

第１　各機関の気象情報に関するシステム

システム	番号
防災情報提供システム市町村防災担当者向け（気象庁） □気象や地震に関する各種防災情報や今後の予報、また、気象庁ホームページには掲載していない注意警戒時系列図・注意警戒分布表示、台風周辺風分布図、流域雨量指数、規格化版流域雨量指数、アメダスの10分値データの閲覧が可能 □市町村毎のマイページを登録する等のカスタマイズが可能 □各種防災気象情報の発表についてメール配信（パソコンに限る）が可能	①
気象庁ホームページ・札幌管区気象台ホームページ □各種気象情報や天気図等の閲覧が可能 □実況監視以外に過去の統計データの検索や災害に関する資料等の閲覧が可能	②
防災情報提供センター（国土交通省） □国土交通省が持つ防災情報の閲覧が可能	③
水管理・国土保全局　川の防災情報　市町村向け（国土交通省） □河川の水位実況の閲覧が可能 □北海道開発局が設置する河川周辺の雨量実況の閲覧が可能	④
北海道地方道路情報提供システム（北海道開発局） □国道の道路情報、国道沿いの気象情報の閲覧が可能	⑤
北海道地区　道路情報（北海道開発局） □国道の道路情報、国道沿いのCCTVによる道路の映像や気象観測データの閲覧が可能	⑥
北海道防災情報（北海道） □防災に関する情報の閲覧が可能	⑦
北海道土砂災害警戒情報システム（北海道） □土砂災害の危険性が高まっている地域をマップ上で閲覧が可能	⑧

※「防災気象情報リンク集（札幌管区気象台ホームページ）」より、各機関のシステムへリンクが可能

第２　気象情報等の確認

（１）水害・土砂災害

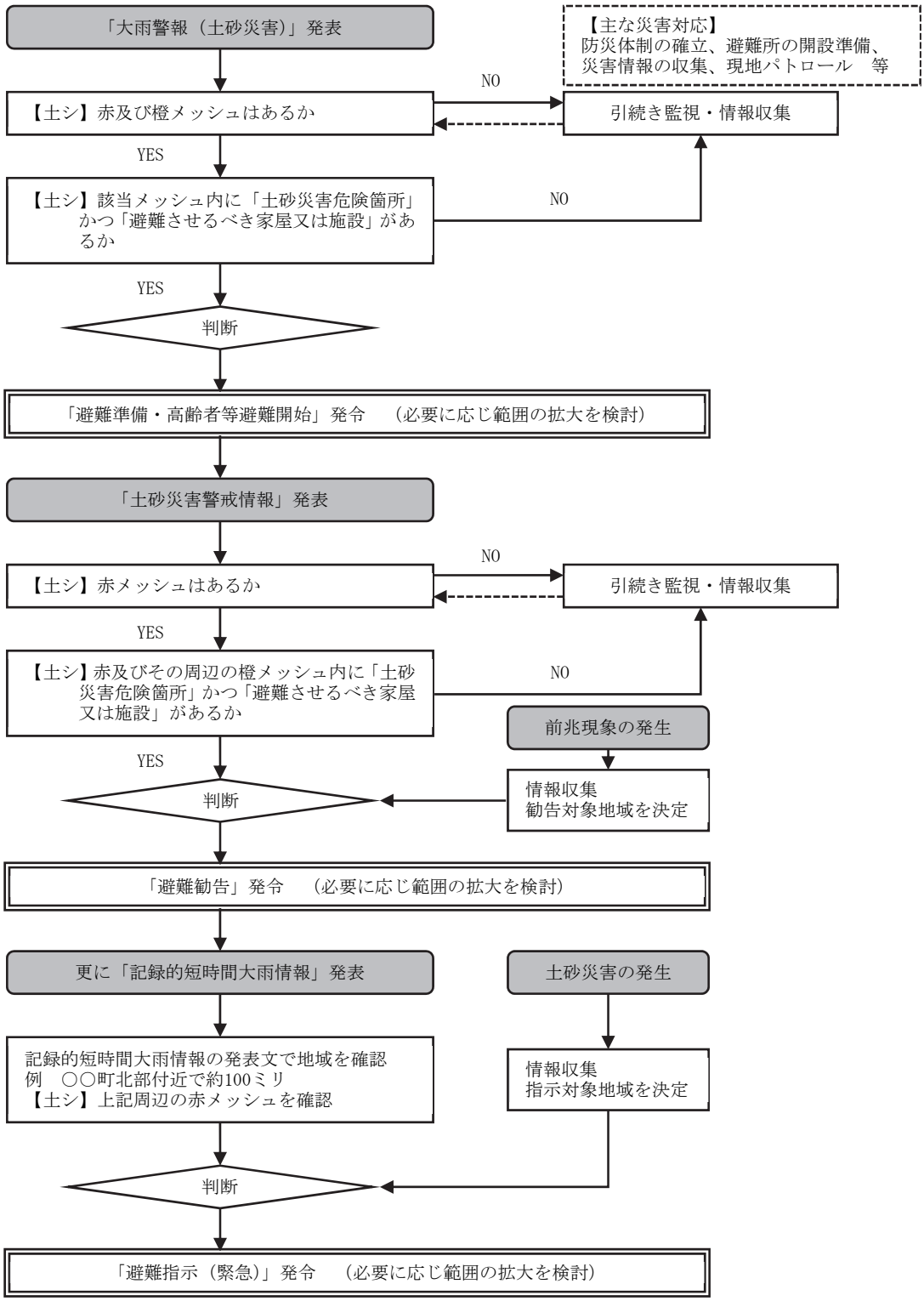
確認事項	気象情報	補足情報
警報や注意報に先立っての注意喚起や、警報や注意報の内容を補完した情報の確認	□北海道地方気象情報（①・②） □府県気象情報（①・②） □記録的短時間大雨情報（①・②）	

確認事項	気象情報	補足情報
台風に関する情報を確認	□台風情報（①・②）	□台風情報（①・②） □台風経路図（①・②） □台風５日進路予報（①・②） □暴風域に入る確率（①・②） □台風周辺風分布図（①）
浸水害・洪水の危険度を確認	□大雨注意報（①・②） □大雨警報（浸水害）（①・②） □大雨特別警報（浸水害）（①・②） □洪水警報（①・②） □洪水注意報（①・②） □記録的短時間大雨情報（①・②）	□注意警戒時系列図（①） □注意警戒分布表示（①） □レーダー・降水ナウキャスト（①・②） □解析雨量（①・②） □降水短時間予報（①・②） □リアルタイムレーダー／雨量（広域版）（③） □リアルタイム雨量（③） □テレメータ雨量（③・④） □テレメータ水位（③・④） □アメダス（降水量）（①・②）
土砂災害の危険度を確認	□大雨警報（土砂災害）（①・②） □土砂災害警戒情報（①・②・⑧）	□土砂災害警戒情報発表状況（⑧） □危険度情報（⑧） 　□土砂災害の危険度を５kmメッシュで表示（３時間先までの予測を表示可能）（⑧） 　□土砂災害危険箇所図（⑧） 　□危険度判定図（スネーク曲線）（⑧） 　□降雨状況経過図（⑧） □降雨情報（⑧）

※気象情報及び補足情報内の（　）の数字は「第１　各機関の気象情報に関するシステム」のシステム番号を示す。

ア　北海道土砂災害警戒情報システムによる判断フロー図

【土シ】＝北海道土砂災害警戒情報システム



（２）暴風

確認事項	気象情報	補足情報
警報や注意報に先立っての注意喚起や、警報や注意報の内容を補完した情報の確認	□北海道地方気象情報（①・②） □府県気象情報（①・②）	□低気圧に関する情報（①・②）
暴風の危険度を確認	□強風注意報（①・②） □暴風警報（①・②） □暴風特別警報（①・②） □海上警報（①・②）	□アメダス（風向・風速）（①・②）
台風に関する情報を確認	□台風情報（①・②）	□台風情報（①・②） □台風経路図（①・②） □台風５日進路予報（①・②） □暴風域に入る確率（①・②） □台風周辺風分布図（①）

※気象情報及び補足情報内の（　）の数字は「第１　各機関の気象情報に関するシステム」のシステム番号を示す。

（３）暴風雪

確認事項	気象情報	補足情報
警報や注意報に先立っての注意喚起や、警報や注意報の内容を補完した情報の確認	□北海道地方気象情報（①・②） □府県気象情報（①・②）	□低気圧に関する情報（①・②）
暴風雪の危険度を確認	□風雪注意報（①・②） □暴風雪警報（①・②） □暴風雪特別警報（①・②） □海上警報（①・②）	□アメダス（風向・風速）（①・②）
道路の状況を確認	□規制区間の情報（⑤・⑥）	□通行止めの情報（⑤・⑥）

※気象情報及び補足情報内の（　）の数字は「第１　各機関の気象情報に関するシステム」のシステム番号を示す。

（４）大雪

確認事項	気象情報	補足情報
警報や注意報に先立っての注意喚起や、警報や注意報の内容を補完した情報の確認	□北海道地方気象情報（①・②） □府県気象情報（①・②）	□低気圧に関する情報（①・②）
大雪の危険度を確認	□大雪注意報（①・②） □大雪警報（①・②） □大雪特別警報（①・②）	□アメダス（積雪雪）（①・②）
道路の状況を確認	□規制区間の情報（⑤・⑥）	□通行止めの情報（⑤・⑥）

※気象情報及び補足情報内の（　）の数字は「第１　各機関の気象情報に関するシステム」のシステ

ム番号を示す。

第３　地象情報の収集方法

１　各機関の地象情報に関するシステム

システム	番号
防災情報提供システム市町村防災担当者向け（気象庁） □地象に関する各種情報や、気象庁ホームページには掲載していない情報の閲覧が可能 □市町村毎のマイページを登録する等のカスタマイズが可能 □各種防災気象情報の発表についてメール配信（パソコンに限る）が可能	①
気象庁ホームページ・札幌管区気象台ホームページ □地象情報の閲覧が可能 □実況監視以外に過去の統計データの検索や災害に関する資料等の閲覧が可能	②
防災情報提供センター（国土交通省） □国土交通省が持つ地殻変動情報等の閲覧が可能	③
北海道防災情報（北海道） □防災に関する情報の閲覧が可能	④

２　地震情報の確認

確認事項	地震情報	補足情報
震度・震源に関する情報を確認	□地震情報（①・②・④）	□震度速報（①・②） □震源に関する情報（①・②） □震度・震源に関する情報（①・②・④） □遠地地震に関する情報（①・②）
地殻変動に関する情報を確認	□地殻変動情報（③）	

※気象情報及び補足情報内の（　）の数字は「第１　各機関の気象情報に関するシステム」のシステム番号を示す。

資料23　除雪作業基準

１　国道路線（札幌開発建設部）

種類	除雪目標
第１種	昼夜の別なく除雪を実施し、常時交通を確保する。
第２種	２車線確保を原則として、夜間除雪は通常行わない。
第３種	１車線確保を原則とし、必要な避難場所を設ける。夜間除雪は行わない。

２　道道路線（札幌建設管理部）

種類	標準交通量	除雪目標
第１種	1,000台／日以上	２車線以上の幅員確保を原則とし、異常降雪時以外は常時交通を確保する。 異常降雪時においては、降雪後約５日以内に２車線確保を図る。
第２種	500～1,000台／日未満	２車線幅員確保を原則とするが、状況によっては、１車線幅員で退避所を設ける。 異常降雪時には、約10日以内に２車線又は１車線の確保を図る。
第３種	500台／日未満	１車線幅員で必要な退避所を設けることを原則とする。

３　町道（南幌町都市整備課）

１車線確保を原則とし、夜間は除雪を行わない。

４　除雪作業路線等

国道・道道及び町道の除雪作業は、各機関の除雪基準による。

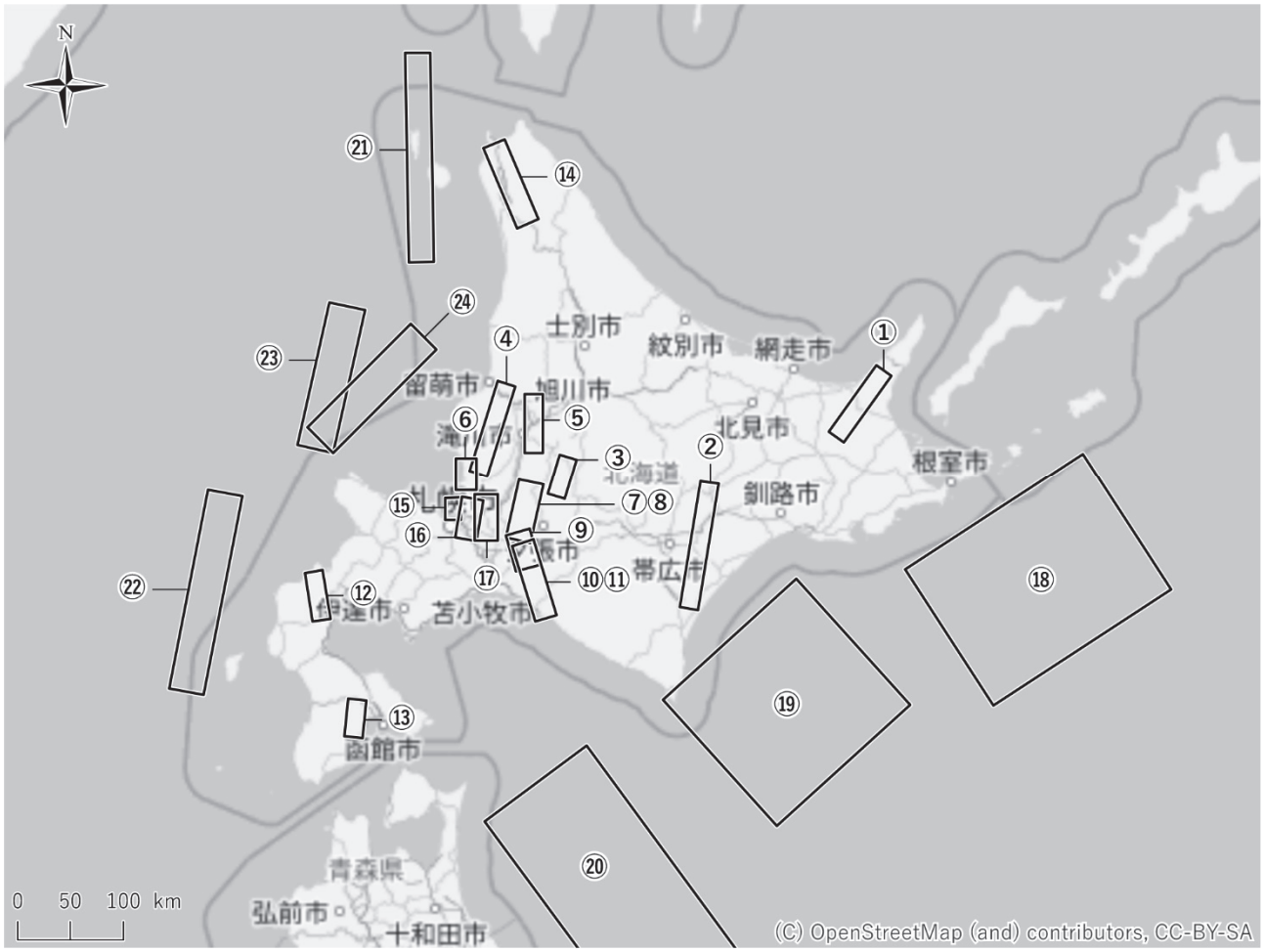
資料24　地震の被害想定

被害想定の対象地震

番号	地震名	断層モデル
①	標津断層帯	30_1　45_5
②	十勝平野断層帯主部※	30_3　45_2　45_5
③	富良野断層帯西部※	30_2　30_5　45_3
④	増毛山地東縁断層帯※	30_2　45_1　45_2　45_3　45_4　45_5
⑤	沼田－砂川付近の断層帯※	30_3　30_4　45_1　45_2　45_3　45_4
⑥	当別断層帯※	30_2　30_5
⑦	石狩低地東縁断層帯主部（北）（深さ７km）※	30_1　30_5　45_1
⑧	石狩低地東縁断層帯主部（北）（深さ３km）※	30_2　45_2　45_3　45_5
⑨	石狩低地東縁断層帯主部（南）（深さ３km）※	45_2　45_5
⑩	石狩低地東縁断層帯南部（深さ７km）※	30_5
⑪	石狩低地東縁断層帯南部（深さ３km）※	30_2　30_3　30_5
⑫	黒松内低地断層帯※	30_5　45_3　45_4
⑬	函館平野西縁断層帯	45_2　45_3
⑭	サロベツ断層帯（断層延長）※	30_2　30_3　30_5
⑮	西札幌背斜に関連する断層※	－
⑯	月寒背斜に関連する断層※	－
⑰	野幌丘陵断層帯※	45_1
⑱	根室沖・釧路沖の地震	－
⑲	十勝沖の地震※	－
⑳	三陸沖北部の地震※	－
㉑	北海道北西沖の地震※	No.2　No.5
㉒	北海道南西沖の地震※	No.2
㉓	北海道留萌沖（走向N193°E）の地震※	No.1
㉔	北海道留萌沖（走向N225°E）の地震※	No.2

※南幌町において想定される地震

（北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）を参考に作成）



被害想定対象地震位置図

（北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）を参考に作成）

南幌町の地震被害想定結果			3.十勝平野断層帯主部（モデル30_3）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	5.2	5.2	5.2
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		揺れによる半壊棟数	1棟	1棟	1棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		半壊棟数	1棟	1棟	1棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	避難者数	避難所生活者数	1人未満	1人未満	1人未満
		避難所外避難者数	1人未満	1人未満	1人未満
		避難者数計	1人	1人未満	1人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		断水世帯数(直後)	1世帯未満	1世帯未満	1世帯未満
		※断水人口（直後）	1人未満	1人未満	1人未満
		断水世帯数(1日後)	1世帯未満	1世帯未満	1世帯未満
		※断水人口（1日後）	2人	2人	2人
		断水世帯数(2日後)	1世帯未満	1世帯未満	1世帯未満
		※断水人口（2日後）	2人	2人	2人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	1.2km	1.2km	1.2km
		機能支障世帯数	55世帯	55世帯	55世帯
		※機能支障人口	154人	154人	154人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	1箇所	1箇所	1箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	34箇所	34箇所	34箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			4.十勝平野断層帯主部（モデル45_2）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	5.1	5.1	5.1
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
(5)火災被害		全出火件数	0件	0件	0件
		炎上出火件数	0件	0件	0件
		焼失棟数	0棟	0棟	0棟
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	0人	0人	0人
		重傷者数	0人	0人	0人
		軽傷者数	0人	0人	0人
	避難者数	避難所生活者数	1人未満	1人未満	1人未満
		避難所外避難者数	1人未満	1人未満	1人未満
		避難者数計	1人未満	1人未満	1人未満
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口（直後）	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口（1日後）	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口（2日後）	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	0.6km	0.6km	0.6km
		機能支障世帯数	26世帯	26世帯	26世帯
		※機能支障人口	71人	71人	71人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
	その他の道路の被害	被害箇所数	18箇所	18箇所	18箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			5.十勝平野断層帯主部（モデル45_5）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	5.1	5.1	5.1
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
(5)火災被害		全出火件数	0件	0件	0件
		炎上出火件数	0件	0件	0件
		焼失棟数	0棟	0棟	0棟
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	0人	0人	0人
		重傷者数	0人	0人	0人
		軽傷者数	0人	0人	0人
	避難者数	避難所生活者数	1人未満	1人未満	1人未満
		避難所外避難者数	1人未満	1人未満	1人未満
		避難者数計	1人未満	1人未満	1人未満
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口（直後）	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口（1日後）	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口（2日後）	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	0.6km	0.6km	0.6km
		機能支障世帯数	26世帯	26世帯	26世帯
		※機能支障人口	71人	71人	71人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
	その他の道路の被害	被害箇所数	18箇所	18箇所	18箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			6.富良野断層帯西部（モデル30_2）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	5.5	5.5	5.5
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		揺れによる半壊棟数	10棟	8棟	10棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		半壊棟数	11棟	8棟	11棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	避難者数	避難所生活者数	86人	85人	86人
		避難所外避難者数	46人	46人	46人
		避難者数計	132人	130人	132人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	7箇所	7箇所	7箇所
		断水世帯数(直後)	325世帯	325世帯	325世帯
		※断水人口（直後）	904人	904人	904人
		断水世帯数(1日後)	209世帯	209世帯	209世帯
		※断水人口（1日後）	580人	580人	580人
		断水世帯数(2日後)	196世帯	196世帯	196世帯
		※断水人口（2日後）	544人	544人	544人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	1.3km	1.3km	1.3km
		機能支障世帯数	58世帯	58世帯	58世帯
		※機能支障人口	163人	163人	163人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	1箇所	1箇所	1箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	36箇所	36箇所	36箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			7.富良野断層帯西部（モデル30_5）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	5.6	5.6	5.6
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		揺れによる半壊棟数	18棟	12棟	18棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		半壊棟数	18棟	12棟	18棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	避難者数	避難所生活者数	145人	143人	145人
		避難所外避難者数	78人	77人	78人
		避難者数計	223人	220人	223人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	11箇所	11箇所	11箇所
		断水世帯数(直後)	611世帯	611世帯	611世帯
		※断水人口（直後）	1,700人	1,700人	1,700人
		断水世帯数(1日後)	346世帯	346世帯	346世帯
		※断水人口（1日後）	962人	962人	962人
		断水世帯数(2日後)	327世帯	327世帯	327世帯
		※断水人口（2日後）	909人	909人	909人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	1.3km	1.3km	1.3km
		機能支障世帯数	58世帯	58世帯	58世帯
		※機能支障人口	163人	163人	163人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	1箇所	1箇所	1箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	36箇所	36箇所	36箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			8.富良野断層帯西部（モデル45_3）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	5.5	5.5	5.5
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		揺れによる半壊棟数	12棟	9棟	12棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		半壊棟数	13棟	9棟	13棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	避難者数	避難所生活者数	102人	100人	102人
		避難所外避難者数	55人	54人	55人
		避難者数計	157人	154人	157人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	8箇所	8箇所	8箇所
		断水世帯数(直後)	395世帯	395世帯	395世帯
		※断水人口（直後）	1,100人	1,100人	1,100人
		断水世帯数(1日後)	244世帯	244世帯	244世帯
		※断水人口（1日後）	678人	678人	678人
		断水世帯数(2日後)	229世帯	229世帯	229世帯
		※断水人口（2日後）	637人	637人	637人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	1.3km	1.3km	1.3km
		機能支障世帯数	58世帯	58世帯	58世帯
		※機能支障人口	163人	163人	163人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	1箇所	1箇所	1箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	36箇所	36箇所	36箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			9.増毛山地東縁断層帯（モデル30_2）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	5.3	5.3	5.3
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		揺れによる半壊棟数	4棟	3棟	4棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		半壊棟数	4棟	3棟	4棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	避難者数	避難所生活者数	18人	18人	18人
		避難所外避難者数	10人	10人	10人
		避難者数計	28人	28人	28人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	2箇所	2箇所	2箇所
		断水世帯数(直後)	33世帯	33世帯	33世帯
		※断水人口（直後）	91人	91人	91人
		断水世帯数(1日後)	38世帯	38世帯	38世帯
		※断水人口（1日後）	105人	105人	105人
		断水世帯数(2日後)	35世帯	35世帯	35世帯
		※断水人口（2日後）	96人	96人	96人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	1.3km	1.3km	1.3km
		機能支障世帯数	58世帯	58世帯	58世帯
		※機能支障人口	163人	163人	163人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	1箇所	1箇所	1箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	35箇所	35箇所	35箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			10.増毛山地東縁断層帯（モデル45_1）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	5.9	5.9	5.9
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	12棟	8棟	12棟
		揺れによる半壊棟数	108棟	59棟	108棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	12棟	8棟	12棟
		半壊棟数	108棟	60棟	108棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	1件
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる軽傷者数	6人	2人	4人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	6人	2人	4人
	避難者数	避難所生活者数	544人	526人	545人
		避難所外避難者数	293人	283人	293人
		避難者数計	837人	809人	838人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	46箇所	46箇所	46箇所
		断水世帯数(直後)	2,028世帯	2,028世帯	2,028世帯
		※断水人口（直後）	5,639人	5,639人	5,639人
		断水世帯数(1日後)	1,176世帯	1,176世帯	1,176世帯
		※断水人口（1日後）	3,270人	3,270人	3,270人
		断水世帯数(2日後)	1,141世帯	1,141世帯	1,141世帯
		※断水人口（2日後）	3,173人	3,173人	3,173人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	2.9km	2.9km	2.9km
		機能支障世帯数	130世帯	130世帯	130世帯
		※機能支障人口	361人	361人	361人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	2箇所	2箇所	2箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	48箇所	48箇所	48箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			11.増毛山地東縁断層帯（モデル45_2）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	5.3	5.3	5.3
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		揺れによる半壊棟数	4棟	4棟	4棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		半壊棟数	4棟	4棟	4棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	避難者数	避難所生活者数	21人	21人	21人
		避難所外避難者数	12人	11人	12人
		避難者数計	33人	33人	33人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	2箇所	2箇所	2箇所
		断水世帯数(直後)	43世帯	43世帯	43世帯
		※断水人口（直後）	120人	120人	120人
		断水世帯数(1日後)	46世帯	46世帯	46世帯
		※断水人口（1日後）	128人	128人	128人
		断水世帯数(2日後)	43世帯	43世帯	43世帯
		※断水人口（2日後）	118人	118人	118人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	1.3km	1.3km	1.3km
		機能支障世帯数	58世帯	58世帯	58世帯
		※機能支障人口	163人	163人	163人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	1箇所	1箇所	1箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	35箇所	35箇所	35箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			12.増毛山地東縁断層帯（モデル45_3）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	6.0	6.0	6.0
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	23棟	15棟	23棟
		揺れによる半壊棟数	174棟	91棟	174棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	24棟	15棟	24棟
		半壊棟数	175棟	92棟	175棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	2件
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	1人	1人未満	1人未満
		揺れによる軽傷者数	9人	3人	7人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人	1人未満	1人未満
		軽傷者数	9人	3人	7人
	避難者数	避難所生活者数	687人	656人	688人
		避難所外避難者数	370人	353人	370人
		避難者数計	1,057人	1,009人	1,058人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	63箇所	63箇所	63箇所
		断水世帯数(直後)	2,290世帯	2,290世帯	2,290世帯
		※断水人口（直後）	6,367人	6,367人	6,367人
		断水世帯数(1日後)	1,434世帯	1,434世帯	1,434世帯
		※断水人口（1日後）	3,987人	3,987人	3,987人
		断水世帯数(2日後)	1,400世帯	1,400世帯	1,400世帯
		※断水人口（2日後）	3,892人	3,892人	3,892人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	2.9km	2.9km	2.9km
		機能支障世帯数	130世帯	130世帯	130世帯
		※機能支障人口	361人	361人	361人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	2箇所	2箇所	2箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	48箇所	48箇所	48箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			13.増毛山地東縁断層帯（モデル45_4）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	5.7	5.7	5.7
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	3棟	2棟	3棟
		揺れによる半壊棟数	41棟	25棟	41棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	3棟	3棟	3棟
		半壊棟数	41棟	25棟	41棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる軽傷者数	2人	1人未満	2人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	2人	1人未満	2人
	避難者数	避難所生活者数	301人	295人	302人
		避難所外避難者数	162人	159人	162人
		避難者数計	464人	454人	464人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	23箇所	23箇所	23箇所
		断水世帯数(直後)	1,300世帯	1,300世帯	1,300世帯
		※断水人口（直後）	3,616人	3,616人	3,616人
		断水世帯数(1日後)	687世帯	687世帯	687世帯
		※断水人口（1日後）	1,909人	1,909人	1,909人
		断水世帯数(2日後)	657世帯	657世帯	657世帯
		※断水人口（2日後）	1,828人	1,828人	1,828人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	2.7km	2.7km	2.7km
		機能支障世帯数	123世帯	123世帯	123世帯
		※機能支障人口	341人	341人	341人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	1箇所	1箇所	1箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	45箇所	45箇所	45箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			14.増毛山地東縁断層帯（モデル45_5）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	6.1	6.1	6.1
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	50棟	29棟	50棟
		揺れによる半壊棟数	275棟	143棟	275棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	51棟	29棟	51棟
		半壊棟数	276棟	144棟	276棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	4件
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	2件
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	2棟
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	2人	1人未満	1人
		揺れによる軽傷者数	16人	5人	12人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	2人	1人未満	1人
		軽傷者数	16人	5人	12人
	避難者数	避難所生活者数	860人	807人	861人
		避難所外避難者数	463人	435人	463人
		避難者数計	1,322人	1,242人	1,324人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	89箇所	89箇所	89箇所
		断水世帯数(直後)	2,504世帯	2,504世帯	2,504世帯
		※断水人口（直後）	6,962人	6,962人	6,962人
		断水世帯数(1日後)	1,715世帯	1,715世帯	1,715世帯
		※断水人口（1日後）	4,769人	4,769人	4,769人
		断水世帯数(2日後)	1,685世帯	1,685世帯	1,685世帯
		※断水人口（2日後）	4,684人	4,684人	4,684人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	3.0km	3.0km	3.0km
		機能支障世帯数	131世帯	131世帯	131世帯
		※機能支障人口	364人	364人	364人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	2箇所	2箇所	2箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	48箇所	48箇所	48箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			15.沼田－砂川付近の断層帯（モデル30_3）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	5.4	5.4	5.4
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		揺れによる半壊棟数	5棟	4棟	5棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		半壊棟数	6棟	4棟	6棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	避難者数	避難所生活者数	29人	29人	29人
		避難所外避難者数	16人	15人	16人
		避難者数計	45人	44人	45人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	3箇所	3箇所	3箇所
		断水世帯数(直後)	68世帯	68世帯	68世帯
		※断水人口（直後）	189人	189人	189人
		断水世帯数(1日後)	64世帯	64世帯	64世帯
		※断水人口（1日後）	179人	179人	179人
		断水世帯数(2日後)	60世帯	60世帯	60世帯
		※断水人口（2日後）	166人	166人	166人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	1.3km	1.3km	1.3km
		機能支障世帯数	58世帯	58世帯	58世帯
		※機能支障人口	163人	163人	163人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	1箇所	1箇所	1箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	35箇所	35箇所	35箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			16.沼田－砂川付近の断層帯（モデル30_4）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	5.4	5.4	5.4
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		揺れによる半壊棟数	10棟	8棟	10棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		半壊棟数	10棟	8棟	10棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	避難者数	避難所生活者数	81人	80人	81人
		避難所外避難者数	44人	43人	44人
		避難者数計	125人	123人	125人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	7箇所	7箇所	7箇所
		断水世帯数(直後)	287世帯	287世帯	287世帯
		※断水人口（直後）	799人	799人	799人
		断水世帯数(1日後)	191世帯	191世帯	191世帯
		※断水人口（1日後）	530人	530人	530人
		断水世帯数(2日後)	178世帯	178世帯	178世帯
		※断水人口（2日後）	496人	496人	496人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	1.3km	1.3km	1.3km
		機能支障世帯数	58世帯	58世帯	58世帯
		※機能支障人口	163人	163人	163人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	1箇所	1箇所	1箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	36箇所	36箇所	36箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			17.沼田－砂川付近の断層帯（モデル45_1）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	5.4	5.4	5.4
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		揺れによる半壊棟数	9棟	7棟	9棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		半壊棟数	9棟	7棟	9棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	避難者数	避難所生活者数	60人	59人	60人
		避難所外避難者数	32人	32人	32人
		避難者数計	92人	91人	92人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	5箇所	5箇所	5箇所
		断水世帯数(直後)	188世帯	188世帯	188世帯
		※断水人口（直後）	522人	522人	522人
		断水世帯数(1日後)	138世帯	138世帯	138世帯
		※断水人口（1日後）	384人	384人	384人
		断水世帯数(2日後)	129世帯	129世帯	129世帯
		※断水人口（2日後）	358人	358人	358人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	1.3km	1.3km	1.3km
		機能支障世帯数	58世帯	58世帯	58世帯
		※機能支障人口	163人	163人	163人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	1箇所	1箇所	1箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	36箇所	36箇所	36箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			18.沼田－砂川付近の断層帯（モデル45_2）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	5.5	5.5	5.5
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		揺れによる半壊棟数	12棟	9棟	12棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		半壊棟数	13棟	9棟	13棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	避難者数	避難所生活者数	102人	100人	102人
		避難所外避難者数	55人	54人	55人
		避難者数計	157人	155人	157人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	8箇所	8箇所	8箇所
		断水世帯数(直後)	385世帯	385世帯	385世帯
		※断水人口（直後）	1,071人	1,071人	1,071人
		断水世帯数(1日後)	239世帯	239世帯	239世帯
		※断水人口（1日後）	665人	665人	665人
		断水世帯数(2日後)	225世帯	225世帯	225世帯
		※断水人口（2日後）	624人	624人	624人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	1.3km	1.3km	1.3km
		機能支障世帯数	58世帯	58世帯	58世帯
		※機能支障人口	163人	163人	163人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	1箇所	1箇所	1箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	36箇所	36箇所	36箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			19.沼田－砂川付近の断層帯（モデル45_3）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	5.4	5.4	5.4
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		揺れによる半壊棟数	5棟	4棟	5棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		半壊棟数	6棟	4棟	6棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	避難者数	避難所生活者数	29人	29人	29人
		避難所外避難者数	16人	16人	16人
		避難者数計	45人	45人	45人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	3箇所	3箇所	3箇所
		断水世帯数(直後)	68世帯	68世帯	68世帯
		※断水人口（直後）	188人	188人	188人
		断水世帯数(1日後)	64世帯	64世帯	64世帯
		※断水人口（1日後）	179人	179人	179人
		断水世帯数(2日後)	60世帯	60世帯	60世帯
		※断水人口（2日後）	165人	165人	165人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	1.3km	1.3km	1.3km
		機能支障世帯数	58世帯	58世帯	58世帯
		※機能支障人口	163人	163人	163人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	1箇所	1箇所	1箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	35箇所	35箇所	35箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			20.沼田－砂川付近の断層帯（モデル45_4）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	5.5	5.5	5.5
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		揺れによる半壊棟数	11棟	8棟	11棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		半壊棟数	11棟	8棟	11棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	避難者数	避難所生活者数	92人	90人	92人
		避難所外避難者数	49人	49人	49人
		避難者数計	141人	139人	141人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	7箇所	7箇所	7箇所
		断水世帯数(直後)	335世帯	335世帯	335世帯
		※断水人口（直後）	933人	933人	933人
		断水世帯数(1日後)	215世帯	215世帯	215世帯
		※断水人口（1日後）	597人	597人	597人
		断水世帯数(2日後)	201世帯	201世帯	201世帯
		※断水人口（2日後）	560人	560人	560人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	1.3km	1.3km	1.3km
		機能支障世帯数	58世帯	58世帯	58世帯
		※機能支障人口	163人	163人	163人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	1箇所	1箇所	1箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	36箇所	36箇所	36箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			21. 当別断層帯（モデル30_2）の地震		
被害想定項目		小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	5.6	5.6	5.6
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		揺れによる半壊棟数	24棟	16棟	24棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		半壊棟数	24棟	16棟	24棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる軽傷者数	1人	1人未満	1人未満
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人	1人未満	1人未満
	避難者数	避難所生活者数	188人	185人	188人
		避難所外避難者数	101人	100人	101人
		避難者数計	290人	285人	290人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	15箇所	15箇所	15箇所
		断水世帯数(直後)	773世帯	773世帯	773世帯
		※断水人口（直後）	2,149人	2,149人	2,149人
		断水世帯数(1日後)	422世帯	422世帯	422世帯
		※断水人口（1日後）	1,173人	1,173人	1,173人
		断水世帯数(2日後)	400世帯	400世帯	400世帯
		※断水人口（2日後）	1,112人	1,112人	1,112人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	1.6km	1.6km	1.6km
		機能支障世帯数	61世帯	61世帯	61世帯
		※機能支障人口	170人	170人	170人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	1箇所	1箇所	1箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	37箇所	37箇所	37箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			22. 当別断層帯（モデル30_5）の地震		
被害想定項目		小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	5.7	5.7	5.7
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	1棟	1棟未満	1棟
		揺れによる半壊棟数	28棟	18棟	28棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	1棟	1棟未満	1棟
		半壊棟数	28棟	18棟	28棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる軽傷者数	1人	1人未満	1人未満
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人	1人未満	1人
	避難者数	避難所生活者数	223人	219人	223人
		避難所外避難者数	120人	118人	120人
		避難者数計	343人	337人	343人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	17箇所	17箇所	17箇所
		断水世帯数(直後)	933世帯	933世帯	933世帯
		※断水人口（直後）	2,594人	2,594人	2,594人
		断水世帯数(1日後)	499世帯	499世帯	499世帯
		※断水人口（1日後）	1,388人	1,388人	1,388人
		断水世帯数(2日後)	475世帯	475世帯	475世帯
		※断水人口（2日後）	1,320人	1,320人	1,320人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
	下水道の被害	被害延長(km)	1.7km	1.7km	1.7km
		機能支障世帯数	64世帯	64世帯	64世帯
		※機能支障人口	179人	179人	179人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	1箇所	1箇所	1箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	39箇所	39箇所	39箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			23. 石狩低地東縁断層帯主部（北）（断層上端深さ7km、モデル30_1）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	6.1	6.1	6.1
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	43棟	25棟	43棟
		揺れによる半壊棟数	248棟	129棟	248棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	44棟	26棟	44棟
		半壊棟数	249棟	130棟	249棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	3件
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	2件
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	2棟
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	2人	1人未満	1人
		揺れによる軽傷者数	15人	5人	11人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	2人	1人未満	1人
		軽傷者数	15人	5人	11人
	避難者数	避難所生活者数	824人	777人	825人
		避難所外避難者数	444人	418人	444人
		避難者数計	1,267人	1,195人	1,269人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	83箇所	83箇所	83箇所
		断水世帯数(直後)	2,480世帯	2,480世帯	2,480世帯
		※断水人口（直後）	6,894人	6,894人	6,894人
		断水世帯数(1日後)	1,682世帯	1,682世帯	1,682世帯
		※断水人口（1日後）	4,676人	4,676人	4,676人
		断水世帯数(2日後)	1,651世帯	1,651世帯	1,651世帯
		※断水人口（2日後）	4,589人	4,589人	4,589人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	2.9km	2.9km	2.9km
		機能支障世帯数	130世帯	130世帯	130世帯
		※機能支障人口	361人	361人	361人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	2箇所	2箇所	2箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	48箇所	48箇所	48箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			24.石狩低地東縁断層帯主部（北）（断層上端深さ7km、モデル30_5）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	6.1	6.1	6.1
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	51棟	30棟	51棟
		揺れによる半壊棟数	285棟	148棟	285棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	52棟	30棟	52棟
		半壊棟数	285棟	149棟	285棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	4件
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	2件
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	2棟
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	2人	1人未満	1人
		揺れによる軽傷者数	17人	5人	13人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	2人	1人未満	2人
		軽傷者数	17人	5人	13人
	避難者数	避難所生活者数	873人	818人	874人
		避難所外避難者数	470人	441人	470人
		避難者数計	1,343人	1,259人	1,344人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	91箇所	91箇所	91箇所
		断水世帯数(直後)	2,528世帯	2,528世帯	2,528世帯
		※断水人口（直後）	7,028人	7,028人	7,028人
		断水世帯数(1日後)	1,755世帯	1,755世帯	1,755世帯
		※断水人口（1日後）	4,880人	4,880人	4,880人
		断水世帯数(2日後)	1,725世帯	1,725世帯	1,725世帯
		※断水人口（2日後）	4,797人	4,797人	4,797人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	2.9km	2.9km	2.9km
		機能支障世帯数	130世帯	130世帯	130世帯
		※機能支障人口	361人	361人	361人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	2箇所	2箇所	2箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	49箇所	49箇所	49箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			25.石狩低地東縁断層帯主部（北）（断層上端深さ7km、モデル45_1）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	6.2	6.2	6.2
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	65棟	36棟	65棟
		揺れによる半壊棟数	331棟	172棟	331棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	66棟	36棟	66棟
		半壊棟数	332棟	173棟	332棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	4件
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	2件
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	2棟
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	2人	1人未満	2人
		揺れによる軽傷者数	20人	6人	15人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	2人	1人未満	2人
		軽傷者数	20人	6人	15人
	避難者数	避難所生活者数	931人	867人	933人
		避難所外避難者数	502人	467人	502人
		避難者数計	1,433人	1,333人	1,435人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	101箇所	101箇所	101箇所
		断水世帯数(直後)	2,572世帯	2,572世帯	2,572世帯
		※断水人口（直後）	7,152人	7,152人	7,152人
		断水世帯数(1日後)	1,832世帯	1,832世帯	1,832世帯
		※断水人口（1日後）	5,094人	5,094人	5,094人
		断水世帯数(2日後)	1,803世帯	1,803世帯	1,803世帯
		※断水人口（2日後）	5,014人	5,014人	5,014人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	3.6km	3.6km	3.6km
		機能支障世帯数	162世帯	162世帯	162世帯
		※機能支障人口	451人	451人	451人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	2箇所	2箇所	2箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	51箇所	51箇所	51箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	1箇所	1箇所	1箇所
		通行支障箇所数	1箇所	1箇所	1箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			26.石狩低地東縁断層帯主部（北）（断層上端深さ3km、モデル30_2）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	6.3	6.3	6.3
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	174棟	87棟	174棟
		揺れによる半壊棟数	589棟	326棟	589棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	2棟	2棟	2棟
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	175棟	88棟	175棟
		半壊棟数	591棟	327棟	591棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	9件
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	4件
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	4棟
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人	1人未満	1人
		揺れによる重傷者数	5人	1人	3人
		揺れによる軽傷者数	42人	12人	31人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人	1人未満	1人
		重傷者数	5人	1人	4人
		軽傷者数	42人	12人	32人
	避難者数	避難所生活者数	1,208人	1,081人	1,210人
		避難所外避難者数	651人	582人	652人
		避難者数計	1,859人	1,663人	1,862人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	163箇所	163箇所	163箇所
		断水世帯数(直後)	2,731世帯	2,731世帯	2,731世帯
		※断水人口（直後）	7,594人	7,594人	7,594人
		断水世帯数(1日後)	2,169世帯	2,169世帯	2,169世帯
		※断水人口（1日後）	6,031人	6,031人	6,031人
		断水世帯数(2日後)	2,149世帯	2,149世帯	2,149世帯
		※断水人口（2日後）	5,974人	5,974人	5,974人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	6.4km	6.4km	6.4km
		機能支障世帯数	287世帯	287世帯	287世帯
		※機能支障人口	799人	799人	799人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	2箇所	2箇所	2箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	60箇所	60箇所	60箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	3箇所	3箇所	3箇所
		通行支障箇所数	4箇所	4箇所	4箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			27.石狩低地東縁断層帯主部（北）（断層上端深さ3km、モデル45_2）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	6.4	6.4	6.4
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	237棟	116棟	237棟
		揺れによる半壊棟数	692棟	396棟	692棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟	1棟	1棟
		液状化による半壊棟数	2棟	2棟	2棟
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	238棟	117棟	238棟
		半壊棟数	694棟	398棟	694棟
(5)火災被害		全出火件数	1件	1件未満	11件
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	5件
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	5棟
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	2人	1人未満	1人
		揺れによる重傷者数	5人	2人	4人
		揺れによる軽傷者数	54人	15人	39人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	2人	1人未満	2人
		重傷者数	5人	2人	4人
		軽傷者数	54人	15人	40人
	避難者数	避難所生活者数	1,309人	1,151人	1,311人
		避難所外避難者数	705人	620人	706人
		避難者数計	2,013人	1,771人	2,017人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	191箇所	191箇所	191箇所
		断水世帯数(直後)	2,763世帯	2,763世帯	2,763世帯
		※断水人口（直後）	7,683人	7,683人	7,683人
		断水世帯数(1日後)	2,259世帯	2,259世帯	2,259世帯
		※断水人口（1日後）	6,280人	6,280人	6,280人
		断水世帯数(2日後)	2,241世帯	2,241世帯	2,241世帯
		※断水人口（2日後）	6,230人	6,230人	6,230人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	6.4km	6.4km	6.4km
		機能支障世帯数	287世帯	287世帯	287世帯
		※機能支障人口	799人	799人	799人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	2箇所	2箇所	2箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	60箇所	60箇所	60箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	3箇所	3箇所	3箇所
		通行支障箇所数	4箇所	4箇所	4箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			28.石狩低地東縁断層帯主部（北）（断層上端深さ3km、モデル45_3）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	6.2	6.2	6.2
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	90棟	48棟	90棟
		揺れによる半壊棟数	401棟	212棟	401棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟	1棟	1棟
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	91棟	48棟	91棟
		半壊棟数	403棟	213棟	403棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	6件
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	3件
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	3棟
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	3人	1人未満	2人
		揺れによる軽傷者数	27人	8人	20人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	3人	1人未満	2人
		軽傷者数	27人	8人	20人
	避難者数	避難所生活者数	1,021人	939人	1,023人
		避難所外避難者数	550人	506人	551人
		避難者数計	1,571人	1,445人	1,573人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	119箇所	119箇所	119箇所
		断水世帯数(直後)	2,645世帯	2,645世帯	2,645世帯
		※断水人口（直後）	7,355人	7,355人	7,355人
		断水世帯数(1日後)	1,977世帯	1,977世帯	1,977世帯
		※断水人口（1日後）	5,497人	5,497人	5,497人
		断水世帯数(2日後)	1,952世帯	1,952世帯	1,952世帯
		※断水人口（2日後）	5,426人	5,426人	5,426人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	5.7km	5.7km	5.7km
		機能支障世帯数	280世帯	280世帯	280世帯
		※機能支障人口	778人	778人	778人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	2箇所	2箇所	2箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	55箇所	55箇所	55箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	2箇所	2箇所	2箇所
		通行支障箇所数	2箇所	2箇所	2箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			29. 石狩低地東縁断層帯主部（北）（断層上端深さ3km、モデル45_5）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	6.3	6.3	6.3
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	153棟	77棟	153棟
		揺れによる半壊棟数	544棟	297棟	544棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟	1棟	1棟
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	154棟	78棟	154棟
		半壊棟数	545棟	299棟	545棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	8件
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	4件
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	4棟
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	4人	1人	3人
		揺れによる軽傷者数	38人	11人	28人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人
		重傷者数	4人	1人	3人
		軽傷者数	39人	11人	29人
	避難者数	避難所生活者数	1,170人	1,053人	1,172人
		避難所外避難者数	630人	567人	631人
		避難者数計	1,799人	1,620人	1,802人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	154箇所	154箇所	154箇所
		断水世帯数(直後)	2,715世帯	2,715世帯	2,715世帯
		※断水人口（直後）	7,548人	7,548人	7,548人
		断水世帯数(1日後)	2,131世帯	2,131世帯	2,131世帯
		※断水人口（1日後）	5,924人	5,924人	5,924人
		断水世帯数(2日後)	2,109世帯	2,109世帯	2,109世帯
		※断水人口（2日後）	5,864人	5,864人	5,864人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	6.4km	6.4km	6.4km
		機能支障世帯数	287世帯	287世帯	287世帯
		※機能支障人口	799人	799人	799人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	2箇所	2箇所	2箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	59箇所	59箇所	59箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	2箇所	2箇所	2箇所
		通行支障箇所数	3箇所	3箇所	3箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			30.石狩低地東縁断層帯主部（南）（断層上端深さ3km、モデル45_2）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	5.8	5.8	5.8
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	15棟	10棟	15棟
		揺れによる半壊棟数	135棟	72棟	135棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	16棟	10棟	16棟
		半壊棟数	136棟	73棟	136棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	2件
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる軽傷者数	7人	2人	5人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	7人	2人	6人
	避難者数	避難所生活者数	600人	577人	601人
		避難所外避難者数	323人	310人	323人
		避難者数計	923人	887人	924人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	52箇所	52箇所	52箇所
		断水世帯数(直後)	2,180世帯	2,180世帯	2,180世帯
		※断水人口（直後）	6,061人	6,061人	6,061人
		断水世帯数(1日後)	1,314世帯	1,314世帯	1,314世帯
		※断水人口（1日後）	3,655人	3,655人	3,655人
		断水世帯数(2日後)	1,280世帯	1,280世帯	1,280世帯
		※断水人口（2日後）	3,558人	3,558人	3,558人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	2.9km	2.9km	2.9km
		機能支障世帯数	130世帯	130世帯	130世帯
		※機能支障人口	361人	361人	361人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	2箇所	2箇所	2箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	48箇所	48箇所	48箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			31.石狩低地東縁断層帯主部（南）（断層上端深さ3km、モデル45_5）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	5.9	5.9	5.9
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	18棟	12棟	18棟
		揺れによる半壊棟数	151棟	79棟	151棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	19棟	12棟	19棟
		半壊棟数	151棟	80棟	151棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	2件
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる軽傷者数	8人	2人	6人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	8人	2人	6人
	避難者数	避難所生活者数	623人	597人	624人
		避難所外避難者数	336人	322人	336人
		避難者数計	959人	919人	960人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	55箇所	55箇所	55箇所
		断水世帯数(直後)	2,223世帯	2,223世帯	2,223世帯
		※断水人口（直後）	6,180人	6,180人	6,180人
		断水世帯数(1日後)	1,356世帯	1,356世帯	1,356世帯
		※断水人口（1日後）	3,769人	3,769人	3,769人
		断水世帯数(2日後)	1,321世帯	1,321世帯	1,321世帯
		※断水人口（2日後）	3,672人	3,672人	3,672人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	2.9km	2.9km	2.9km
		機能支障世帯数	130世帯	130世帯	130世帯
		※機能支障人口	361人	361人	361人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	2箇所	2箇所	2箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	48箇所	48箇所	48箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			32.石狩低地東縁断層帯南部（断層上端深さ7km、モデル30_5）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	6.0	6.0	6.0
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	44棟	26棟	44棟
		揺れによる半壊棟数	256棟	132棟	256棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	45棟	26棟	45棟
		半壊棟数	257棟	133棟	257棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	3件
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	2件
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	2棟
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	2人	1人未満	1人
		揺れによる軽傷者数	15人	4人	11人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	2人	1人未満	1人
		軽傷者数	15人	4人	11人
	避難者数	避難所生活者数	817人	770人	818人
		避難所外避難者数	440人	414人	440人
		避難者数計	1,257人	1,184人	1,258人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	82箇所	82箇所	82箇所
		断水世帯数(直後)	2,472世帯	2,472世帯	2,472世帯
		※断水人口（直後）	6,874人	6,874人	6,874人
		断水世帯数(1日後)	1,662世帯	1,662世帯	1,662世帯
		※断水人口（1日後）	4,620人	4,620人	4,620人
		断水世帯数(2日後)	1,630世帯	1,630世帯	1,630世帯
		※断水人口（2日後）	4,532人	4,532人	4,532人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	2.9km	2.9km	2.9km
		機能支障世帯数	130世帯	130世帯	130世帯
		※機能支障人口	361人	361人	361人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	2箇所	2箇所	2箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	48箇所	48箇所	48箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			33.石狩低地東縁断層帯南部（断層上端深さ3km、モデル30_2）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	5.4	5.4	5.4
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		揺れによる半壊棟数	9棟	7棟	9棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		半壊棟数	9棟	7棟	9棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	避難者数	避難所生活者数	63人	62人	63人
		避難所外避難者数	34人	33人	34人
		避難者数計	96人	95人	96人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	5箇所	5箇所	5箇所
		断水世帯数(直後)	213世帯	213世帯	213世帯
		※断水人口（直後）	593人	593人	593人
		断水世帯数(1日後)	153世帯	153世帯	153世帯
		※断水人口（1日後）	425人	425人	425人
		断水世帯数(2日後)	143世帯	143世帯	143世帯
		※断水人口（2日後）	396人	396人	396人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	1.3km	1.3km	1.3km
		機能支障世帯数	58世帯	58世帯	58世帯
		※機能支障人口	163人	163人	163人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	1箇所	1箇所	1箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	36箇所	36箇所	36箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			34.石狩低地東縁断層帯南部（断層上端深さ3km、モデル30_3）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	5.9	5.9	5.9
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	29棟	18棟	29棟
		揺れによる半壊棟数	201棟	104棟	201棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	29棟	18棟	29棟
		半壊棟数	202棟	105棟	202棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	2件
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	1件
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	1棟
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	1人	1人未満	1人未満
		揺れによる軽傷者数	11人	3人	8人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人	1人未満	1人未満
		軽傷者数	11人	3人	8人
	避難者数	避難所生活者数	726人	690人	727人
		避難所外避難者数	391人	372人	391人
		避難者数計	1,117人	1,062人	1,118人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	68箇所	68箇所	68箇所
		断水世帯数(直後)	2,363世帯	2,363世帯	2,363世帯
		※断水人口（直後）	6,571人	6,571人	6,571人
		断水世帯数(1日後)	1,515世帯	1,515世帯	1,515世帯
		※断水人口（1日後）	4,212人	4,212人	4,212人
		断水世帯数(2日後)	1,481世帯	1,481世帯	1,481世帯
		※断水人口（2日後）	4,118人	4,118人	4,118人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	2.9km	2.9km	2.9km
		機能支障世帯数	130世帯	130世帯	130世帯
		※機能支障人口	361人	361人	361人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	2箇所	2箇所	2箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	48箇所	48箇所	48箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			35.石狩低地東縁断層帯南部（断層上端深さ3km、モデル30_5）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	6.0	6.0	6.0
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	55棟	31棟	55棟
		揺れによる半壊棟数	296棟	153棟	296棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	56棟	32棟	56棟
		半壊棟数	297棟	154棟	297棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	4件
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	2件
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	2棟
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	2人	1人未満	1人
		揺れによる軽傷者数	17人	5人	13人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	2人	1人未満	2人
		軽傷者数	17人	5人	13人
	避難者数	避難所生活者数	873人	817人	874人
		避難所外避難者数	470人	440人	470人
		避難者数計	1,343人	1,256人	1,344人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	91箇所	91箇所	91箇所
		断水世帯数(直後)	2,527世帯	2,527世帯	2,527世帯
		※断水人口（直後）	7,026人	7,026人	7,026人
		断水世帯数(1日後)	1,745世帯	1,745世帯	1,745世帯
		※断水人口（1日後）	4,853人	4,853人	4,853人
		断水世帯数(2日後)	1,715世帯	1,715世帯	1,715世帯
		※断水人口（2日後）	4,768人	4,768人	4,768人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	2.9km	2.9km	2.9km
		機能支障世帯数	130世帯	130世帯	130世帯
		※機能支障人口	361人	361人	361人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	2箇所	2箇所	2箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	49箇所	49箇所	49箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			36.黒松内低地断層帯（モデル30_5）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	4.9	4.9	4.9
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
(5)火災被害		全出火件数	0件	0件	0件
		炎上出火件数	0件	0件	0件
		焼失棟数	0棟	0棟	0棟
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	0人	0人	0人
		重傷者数	0人	0人	0人
		軽傷者数	0人	0人	0人
	避難者数	避難所生活者数	1人未満	1人未満	1人未満
		避難所外避難者数	1人未満	1人未満	1人未満
		避難者数計	1人未満	1人未満	1人未満
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口（直後）	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口（1日後）	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口（2日後）	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	0.6km	0.6km	0.6km
		機能支障世帯数	25世帯	25世帯	25世帯
		※機能支障人口	71人	71人	71人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
	その他の道路の被害	被害箇所数	18箇所	18箇所	18箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			37.黒松内低地断層帯（モデル45_3）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	4.9	4.9	4.9
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
(5)火災被害		全出火件数	0件	0件	0件
		炎上出火件数	0件	0件	0件
		焼失棟数	0棟	0棟	0棟
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	0人	0人	0人
		重傷者数	0人	0人	0人
		軽傷者数	0人	0人	0人
	避難者数	避難所生活者数	1人未満	1人未満	1人未満
		避難所外避難者数	1人未満	1人未満	1人未満
		避難者数計	1人未満	1人未満	1人未満
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口（直後）	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口（1日後）	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口（2日後）	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	0.6km	0.6km	0.6km
		機能支障世帯数	25世帯	25世帯	25世帯
		※機能支障人口	71人	71人	71人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
	その他の道路の被害	被害箇所数	18箇所	18箇所	18箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			38.黒松内低地断層帯（モデル45_4）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	4.9	4.9	4.9
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
(5)火災被害		全出火件数	0件	0件	0件
		炎上出火件数	0件	0件	0件
		焼失棟数	0棟	0棟	0棟
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	0人	0人	0人
		重傷者数	0人	0人	0人
		軽傷者数	0人	0人	0人
	避難者数	避難所生活者数	1人未満	1人未満	1人未満
		避難所外避難者数	1人未満	1人未満	1人未満
		避難者数計	1人未満	1人未満	1人未満
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口（直後）	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口（1日後）	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口（2日後）	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	0.6km	0.6km	0.6km
		機能支障世帯数	25世帯	25世帯	25世帯
		※機能支障人口	71人	71人	71人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
	その他の道路の被害	被害箇所数	18箇所	18箇所	18箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			41.サロベツ断層帯（北延長、モデル30_2）の地震		
被害想定項目		小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	4.8	4.8	4.8
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度A（箇所)	※2	※2	※2
		崩壊危険度B（箇所)	※2	※2	※2
		崩壊危険度C（箇所)	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		液状化による半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		半壊棟数	0棟	0棟	0棟
(5)火災被害		全出火件数	0件	0件	0件
		炎上出火件数	0件	0件	0件
		焼失棟数	0棟	0棟	0棟
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	0人	0人	0人
		重傷者数	0人	0人	0人
		軽傷者数	0人	0人	0人
	避難者数	避難所生活者数	0人	0人	0人
		避難所外避難者数	0人	0人	0人
		避難者数計	0人	0人	0人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口（直後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口（1日後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口（2日後)	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	0.5km	0.5km	0.5km
		機能支障世帯数	25世帯	25世帯	25世帯
		※機能支障人口	70人	70人	70人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
	その他の道路の被害	被害箇所数	17箇所	17箇所	17箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			42.サロベツ断層帯（北延長、モデル30_3）の地震		
被害想定項目		小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	4.5	4.5	4.5
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度A（箇所)	※2	※2	※2
		崩壊危険度B（箇所)	※2	※2	※2
		崩壊危険度C（箇所)	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		液状化による半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		半壊棟数	0棟	0棟	0棟
(5)火災被害		全出火件数	0件	0件	0件
		炎上出火件数	0件	0件	0件
		焼失棟数	0棟	0棟	0棟
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	0人	0人	0人
		重傷者数	0人	0人	0人
		軽傷者数	0人	0人	0人
	避難者数	避難所生活者数	0人	0人	0人
		避難所外避難者数	0人	0人	0人
		避難者数計	0人	0人	0人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口（直後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口（1日後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口（2日後)	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	0km	0km	0km
		機能支障世帯数	0世帯	0世帯	0世帯
		※機能支障人口	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			43. サロベツ断層帯（北延長、モデル30_5）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	4.4	4.4	4.4
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		液状化による半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		半壊棟数	0棟	0棟	0棟
(5)火災被害		全出火件数	0件	0件	0件
		炎上出火件数	0件	0件	0件
		焼失棟数	0棟	0棟	0棟
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	0人	0人	0人
		重傷者数	0人	0人	0人
		軽傷者数	0人	0人	0人
	避難者数	避難所生活者数	0人	0人	0人
		避難所外避難者数	0人	0人	0人
		避難者数計	0人	0人	0人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口（直後）	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口（1日後）	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口（2日後）	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	0km	0km	0km
		機能支障世帯数	0世帯	0世帯	0世帯
		※機能支障人口	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			44. 西札幌背斜に関連する断層の地震		
被害想定項目		小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	5.6	5.6	5.6
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度A（箇所)	※2	※2	※2
		崩壊危険度B（箇所)	※2	※2	※2
		崩壊危険度C（箇所)	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		揺れによる半壊棟数	17棟	12棟	17棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		半壊棟数	17棟	12棟	17棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	避難者数	避難所生活者数	143人	141人	143人
		避難所外避難者数	77人	76人	77人
		避難者数計	220人	216人	220人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	11箇所	11箇所	11箇所
		断水世帯数(直後)	479世帯	479世帯	479世帯
		※断水人口（直後)	1,332人	1,332人	1,332人
		断水世帯数(1日後)	284世帯	284世帯	284世帯
		※断水人口（1日後)	789人	789人	789人
		断水世帯数(2日後)	267世帯	267世帯	267世帯
		※断水人口（2日後)	743人	743人	743人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
	下水道の被害	被害延長(km)	1.6km	1.6km	1.6km
		機能支障世帯数	61世帯	61世帯	61世帯
		※機能支障人口	170人	170人	170人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	1箇所	1箇所	1箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	37箇所	37箇所	37箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			45.月寒背斜に関連する断層の地震		
被害想定項目		小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	6.3	6.3	6.3
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度A（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度B（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度C（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	154棟	77棟	154棟
		揺れによる半壊棟数	535棟	293棟	535棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟	1棟	1棟
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	155棟	78棟	155棟
		半壊棟数	536棟	294棟	536棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	8件
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	4件
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	4棟
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	4人	1人	3人
		揺れによる軽傷者数	36人	10人	26人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人
		重傷者数	4人	1人	3人
		軽傷者数	36人	10人	27人
	避難者数	避難所生活者数	1,153人	1,041人	1,155人
		避難所外避難者数	621人	561人	622人
		避難者数計	1,774人	1,602人	1,777人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	150箇所	150箇所	150箇所
		断水世帯数(直後)	2,700世帯	2,700世帯	2,700世帯
		※断水人口（直後）	7,508人	7,508人	7,508人
		断水世帯数(1日後)	2,079世帯	2,079世帯	2,079世帯
		※断水人口（1日後）	5,780人	5,780人	5,780人
		断水世帯数(2日後)	2,055世帯	2,055世帯	2,055世帯
		※断水人口（2日後）	5,715人	5,715人	5,715人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
	下水道の被害	被害延長(km)	6.4km	6.4km	6.4km
		機能支障世帯数	287世帯	287世帯	287世帯
		※機能支障人口	799人	799人	799人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	2箇所	2箇所	2箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	59箇所	59箇所	59箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	3箇所	3箇所	3箇所
		通行支障箇所数	4箇所	4箇所	4箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			46. 野幌丘陵断層帯（モデル45_1）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	6.5	6.5	6.5
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	545棟	267棟	545棟
		揺れによる半壊棟数	978棟	642棟	978棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	2棟	2棟	2棟
		液状化による半壊棟数	3棟	3棟	3棟
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	547棟	269棟	547棟
		半壊棟数	981棟	644棟	981棟
(5)火災被害		全出火件数	2件	1件未満	21件
		炎上出火件数	1件	1件未満	10件
		焼失棟数	1棟	1棟未満	10棟
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	4人	1人未満	3人
		揺れによる重傷者数	7人	3人	5人
		揺れによる軽傷者数	91人	27人	64人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	2人
	計	死者数	4人	1人未満	4人
		重傷者数	7人	3人	6人
		軽傷者数	92人	27人	66人
	避難者数	避難所生活者数	1,610人	1,350人	1,614人
		避難所外避難者数	867人	727人	869人
		避難者数計	2,476人	2,076人	2,483人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	293箇所	293箇所	293箇所
		断水世帯数(直後)	2,822世帯	2,822世帯	2,822世帯
		※断水人口（直後）	7,845人	7,845人	7,845人
		断水世帯数(1日後)	2,442世帯	2,442世帯	2,442世帯
		※断水人口（1日後）	6,789人	6,789人	6,789人
		断水世帯数(2日後)	2,429世帯	2,429世帯	2,429世帯
		※断水人口（2日後）	6,753人	6,753人	6,753人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	6.5km	6.5km	6.5km
		機能支障世帯数	288世帯	288世帯	288世帯
		※機能支障人口	801人	801人	801人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	2箇所	2箇所	2箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	61箇所	61箇所	61箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	3箇所	3箇所	3箇所
		通行支障箇所数	4箇所	4箇所	4箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			48. 十勝沖の地震		
被害想定項目		小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	5.7	5.7	5.7
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度A（箇所)	※2	※2	※2
		崩壊危険度B（箇所)	※2	※2	※2
		崩壊危険度C（箇所)	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	3棟	3棟	3棟
		揺れによる半壊棟数	44棟	26棟	44棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	3棟	3棟	3棟
		半壊棟数	44棟	26棟	44棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる軽傷者数	2人	1人未満	2人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	2人	1人未満	2人
	避難者数	避難所生活者数	307人	300人	307人
		避難所外避難者数	165人	162人	165人
		避難者数計	472人	462人	472人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	24箇所	24箇所	24箇所
		断水世帯数(直後)	1,333世帯	1,333世帯	1,333世帯
		※断水人口（直後)	3,706人	3,706人	3,706人
		断水世帯数(1日後)	703世帯	703世帯	703世帯
		※断水人口（1日後)	1,956人	1,956人	1,956人
		断水世帯数(2日後)	673世帯	673世帯	673世帯
		※断水人口（2日後)	1,872人	1,872人	1,872人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
	下水道の被害	被害延長(km)	2.7km	2.7km	2.7km
		機能支障世帯数	124世帯	124世帯	124世帯
		※機能支障人口	345人	345人	345人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	2箇所	2箇所	2箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	47箇所	47箇所	47箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			49. 三陸沖北部の地震		
被害想定項目		小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	5.6	5.6	5.6
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度A（箇所)	※2	※2	※2
		崩壊危険度B（箇所)	※2	※2	※2
		崩壊危険度C（箇所)	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	2棟	2棟	2棟
		揺れによる半壊棟数	37棟	23棟	37棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	2棟	2棟	2棟
		半壊棟数	37棟	23棟	37棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる軽傷者数	2人	1人未満	1人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	2人	1人未満	1人
	避難者数	避難所生活者数	274人	268人	274人
		避難所外避難者数	147人	144人	147人
		避難者数計	421人	413人	421人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	21箇所	21箇所	21箇所
		断水世帯数(直後)	1,191世帯	1,191世帯	1,191世帯
		※断水人口（直後)	3,310人	3,310人	3,310人
		断水世帯数(1日後)	627世帯	627世帯	627世帯
		※断水人口（1日後)	1,744人	1,744人	1,744人
		断水世帯数(2日後)	599世帯	599世帯	599世帯
		※断水人口（2日後)	1,665人	1,665人	1,665人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
	下水道の被害	被害延長(km)	2.2km	2.2km	2.2km
		機能支障世帯数	94世帯	94世帯	94世帯
		※機能支障人口	261人	261人	261人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	1箇所	1箇所	1箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	43箇所	43箇所	43箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			50.北海道北西沖（モデルNo.2）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	5.3	5.3	5.3
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		揺れによる半壊棟数	3棟	2棟	3棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		半壊棟数	3棟	2棟	3棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	避難者数	避難所生活者数	10人	9人	10人
		避難所外避難者数	5人	5人	5人
		避難者数計	15人	14人	15人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		断水世帯数(直後)	11世帯	11世帯	11世帯
		※断水人口（直後）	31人	31人	31人
		断水世帯数(1日後)	17世帯	17世帯	17世帯
		※断水人口（1日後）	47人	47人	47人
		断水世帯数(2日後)	15世帯	15世帯	15世帯
		※断水人口（2日後）	43人	43人	43人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	1.3km	1.3km	1.3km
		機能支障世帯数	58世帯	58世帯	58世帯
		※機能支障人口	163人	163人	163人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	1箇所	1箇所	1箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	35箇所	35箇所	35箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			51.北海道北西沖（モデルNo.5）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	4.9	4.9	4.9
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
(5)火災被害		全出火件数	0件	0件	0件
		炎上出火件数	0件	0件	0件
		焼失棟数	0棟	0棟	0棟
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	0人	0人	0人
		重傷者数	0人	0人	0人
		軽傷者数	0人	0人	0人
	避難者数	避難所生活者数	1人未満	1人未満	1人未満
		避難所外避難者数	1人未満	1人未満	1人未満
		避難者数計	1人未満	1人未満	1人未満
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口（直後）	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口（1日後）	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口（2日後）	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	0.6km	0.6km	0.6km
		機能支障世帯数	25世帯	25世帯	25世帯
		※機能支障人口	71人	71人	71人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
	その他の道路の被害	被害箇所数	18箇所	18箇所	18箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			52.北海道南西沖（モデルNo.2）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	5.5	5.5	5.5
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度Ａ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｂ（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度Ｃ（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		揺れによる半壊棟数	15棟	11棟	15棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		半壊棟数	16棟	11棟	16棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	避難者数	避難所生活者数	126人	124人	126人
		避難所外避難者数	68人	67人	68人
		避難者数計	194人	191人	194人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	10箇所	10箇所	10箇所
		断水世帯数(直後)	485世帯	485世帯	485世帯
		※断水人口（直後）	1,348人	1,348人	1,348人
		断水世帯数(1日後)	287世帯	287世帯	287世帯
		※断水人口（1日後）	797人	797人	797人
		断水世帯数(2日後)	270世帯	270世帯	270世帯
		※断水人口（2日後）	751人	751人	751人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
	下水道の被害	被害延長(km)	1.3km	1.3km	1.3km
		機能支障世帯数	58世帯	58世帯	58世帯
		※機能支障人口	163人	163人	163人
		復旧日数(人員1/2)	－	－	－
		復旧日数(人員1/4)	－	－	－
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	1箇所	1箇所	1箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	36箇所	36箇所	36箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			53.北海道留萌沖（走向N193°E、モデルNo.1）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	5.7	5.7	5.7
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度A（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度B（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度C（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	6棟	5棟	6棟
		揺れによる半壊棟数	57棟	33棟	57棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	6棟	5棟	6棟
		半壊棟数	57棟	33棟	57棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる軽傷者数	3人	1人	2人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	3人	1人	2人
	避難者数	避難所生活者数	368人	359人	369人
		避難所外避難者数	198人	194人	199人
		避難者数計	567人	553人	567人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	29箇所	29箇所	29箇所
		断水世帯数(直後)	1,523世帯	1,523世帯	1,523世帯
		※断水人口（直後）	4,235人	4,235人	4,235人
		断水世帯数(1日後)	814世帯	814世帯	814世帯
		※断水人口（1日後）	2,263人	2,263人	2,263人
		断水世帯数(2日後)	782世帯	782世帯	782世帯
		※断水人口（2日後）	2,174人	2,174人	2,174人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
	下水道の被害	被害延長(km)	2.9km	2.9km	2.9km
		機能支障世帯数	129世帯	129世帯	129世帯
		※機能支障人口	359人	359人	359人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	2箇所	2箇所	2箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	47箇所	47箇所	47箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用

南幌町の地震被害想定結果			54.北海道留萌沖（走向N225°E、モデルNo.2）の地震		
被害想定項目		小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）
(1)地震動		地表における震度(評価単位最大)	5.9	5.9	5.9
(3)急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度A（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度B（箇所）	※2	※2	※2
		崩壊危険度C（箇所）	※2	※2	※2
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	18棟	12棟	18棟
		揺れによる半壊棟数	151棟	80棟	151棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	※2	※2	※2
	計	全壊棟数	19棟	12棟	19棟
		半壊棟数	152棟	80棟	152棟
(5)火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	2件
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる軽傷者数	8人	3人	6人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による重傷者数	※2	※2	※2
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	※2	※2	※2
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	8人	3人	6人
	避難者数	避難所生活者数	637人	610人	637人
		避難所外避難者数	343人	329人	343人
		避難者数計	979人	939人	980人
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	57箇所	57箇所	57箇所
		断水世帯数(直後)	2,204世帯	2,204世帯	2,204世帯
		※断水人口（直後）	6,127人	6,127人	6,127人
		断水世帯数(1日後)	1,338世帯	1,338世帯	1,338世帯
		※断水人口（1日後）	3,720人	3,720人	3,720人
		断水世帯数(2日後)	1,303世帯	1,303世帯	1,303世帯
		※断水人口（2日後）	3,623人	3,623人	3,623人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
	下水道の被害	被害延長(km)	2.9km	2.9km	2.9km
		機能支障世帯数	130世帯	130世帯	130世帯
		※機能支障人口	361人	361人	361人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
(8)交通施設被害	主要な道路の被	被害箇所数	2箇所	2箇所	2箇所
	その他の道路の被害	被害箇所数	48箇所	48箇所	48箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない			※2　急傾斜地なし		

北海道総務部危機対策局危機対策課：全道の地震被害想定調査結果（平成30年２月公表）より引用